

# ご支援いただいている皆さまへ



COSMOエコ基金  
理事長

ルゾンカ 典子

## 理事長あいさつ

日頃より当基金を支えて頂いている皆さまへ、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。昨年12月に、国連生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)がカナダのモントリオールで開催され、2030年までに陸と海の30%以上を保全する「30by30(サーティ・バイ・サーティ)」が主要な目標の一つとして定められました。その他、減少する生物多様性を回復に転じさせようとする「ネイチャーポジティブ」という目標も出ており、国連や政府だけでなく、企業等の取り組みも加速させていく必要があることが再確認されました。当基金の活動におきましても、20年前から気候変動と生物多様性の両面を活動テーマに掲げており、今後も中長期ビジョンの達成、ひいては環境問題における様々な課題解決を目指して活動を継続してまいります。また、私共コスモエネルギーグループでは、2023年度から第7次連結中期経営計画をスタートさせ、中長期のありたい姿として「Vision2030」を策定、Scope3(スコープスリー)を含めてカーボンネットゼロとする2050年までのロードマップを改めて公表しました。グループ全体の事業活動におきましても、高い目標の達成に向け確実に施策を進めていく所存です。今後も地球と人に配慮した脱炭素志向の開かれた地域循環社会を目指し、皆さまと共に歩んでまいりたいと考えております。今後とも当基金を宜しく願いいたします。



COSMOエコ基金評議員  
サステイナブル経営総合研究所 所長

多田 博之

## 評議員メッセージ

現代の環境問題の2大課題は、気候危機と生態系の劣化です。多くのセクターの努力にも関わらず、残念ながらこれらの進行には歯止めがかかっていないのが実情です。SDGsの根本命題はトランスフォーメーション(大変革)ですが、これは一朝一夕には出来ません。肝心なのは、私たち80億人の一人ひとりが傍観者にならないということです。小さくても何か具体的な行動を起こさねば、環境負荷は決して減りません。COSMOエコ基金は、小さな一歩を踏み出すための一つのきっかけを与えるものであり、世代を超えて一人でも多くの方々の参加が望まれるとともに、基金のさらなる拡大、発展を心から祈念致します。

## COSMOエコ基金の想い

私たちコスモエネルギーグループが取り扱う石油は、豊かな暮らしを支えてきた一方で、地球環境に負荷を与えてしまうことも事実です。

そこで私たちは、1990年代からいち早く環境問題に取り組んできました。そのひとつが、「ずっと地球で暮らそう」プロジェクトとして活動が続いている「COSMOエコ基金」です。気候変動対応や生態系を守る活動をサポートすることで、貧困など根本的な問題の解決にも貢献してきました。

COSMOエコ基金は、昨年20年目を迎えました。このひとつの節目に、今までの活動を大切に守り、その上で、低炭素・資源循環型社会の実現に向け、一歩踏み込んだ取り組みを重ねていきたいと考えています。そんな思いから、再生可能エネルギーに向きあい、同時に、次世代を育てるプロジェクトにも力を入れていきます。

これらのひたむきな思いと取り組みを、社会のために。そして未来のために。COSMOエコ基金は皆さまとともに歩んでまいります。



— COSMOエコ基金の想い。その実現をめざして —

## 中長期ビジョン

COSMOエコ基金は、多様なパートナーシップにより、気候変動問題に向き合い「地球と人に配慮した脱炭素志向の開かれた地域循環社会」づくりに貢献しています。

3つの  
戦略

社会課題解決への  
新しい取り組み

コミュニケーションの  
強化

多様なパートナーシップの  
構築

5つの  
個別戦略

  
プログラム

  
コスモグループ内連携

  
コミュニケーション

  
会員

  
パートナー